事業番号

53

						亚战众	2	在行政	声 米	٠ ـ ـ ١ ـ ١ ـ ١	·	<u> </u>		工件	当届上少)
車	·····································			医療連携体制推進事業								生労働省) 作成責任者			
事業	開始 •]始 -			平成18年度~			担当課室		比道钾 医硫	│ │ │ │指導課 医師確保等地域医療対策室		+ 华 宍		
	定)年度														
	計区分	一般会計			施策	名 ——	₩ – 1								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		-	-			関係する通知	等	業の実施に	つい	て」		27039号「地域医療対策事			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)										救急医療対策、災 供体制を構築する			地医療対策	、 周産	期医療対策、小
事業概要 (5行程度以 内。別添可)		基準額	な事業ご。 類 5, 1€ 率 1/2	60千円	《体制 》	を構築するため	الديان	必要な事業を行	行うもの	のとする。					
実施	包方法	口直	接実施	[]業務	紧委託等 ————————————————————————————————————		■補助		□貸付		その他			
						20年度		21年度		22年度		23年度		24年度要求	
		予		切予算		416		415		416		158	3		
- 子1	車額・	算の		E予算			_								
執	行額		返し等	_		_									
(単位	· 日 刀 口 /	兀		計		416		415		416		158	3		
		執行額			116		169		158	158					
		執行率 (%) 2		27.9%		40.7%		38.0%	0%						
+ = 1	コ +亜 エス- ッ ク	成果指標				単位	20年度		21年度	22年	度	目標値 (年度)			
成身	目標及び 果実績	主要な事業ごとに切れり体制を構築する。			3のない医療連携提供		成果実績								
(アワ	トカム)				107.0			達成度	%						
					指標				単位	7 20年度			22年	 度	23年度活動見込
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		22年度は、40都道府県において事業を実施				VI 51 (7) (8)									
						活動実績(当初見込							_		
								み)					()	()
単位当たり コスト		-			算出根拠			•							
平成23・24年度予算内訳	_			23年度当初	1 12 12 1 2		主な増減理由 「医療提供体制推進事業」に統合								
	医療提供体制推進事		K 具補助並	158		0		· 医撩提供体	⋄ 制推	延事 兼 川 ご 統 合					
訳				4		•									
	計		158		0										

評価 項 目 特記事項 ○ 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 ○ 励が実施すべき事業であるか。効力自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。 ○ 元 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 - 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 - 単位あたリコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 ○ 受益者との負担関係は妥当であるか。 ○ 受益者との負担関係は妥当であるか。 ○ 受血者の自治関係は妥当であるか。 ○ 受血の流の中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 ○ 費自・使途が事業目的に関し真に必要なものに限定されているか。 ○ 通切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 ○ 通切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 ○ 透切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 ○ がよれた施設や成果物は十分に活用されているか。 ● 対域の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ② が開きれた施設や成果物は十分に活用されているか。 ● 対策事業は、主たる事業(いわゆる4疾病5事業等)における医療速機を推進するための事業であり、医療の現場でもある部道府県 「支援していくことは、非常に有意義な手法であり、また部道府県からのニーズも高いことから、今後も継続して実施してまいりたい。 ● 本事業については、平成23年度においても予算の陥離が図られており、事業の必要性も認められるところではあるが、更なるの効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。 ・ 上配の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			事業所管部局による点検								
的		評価	項目	特記事項							
状況予 の	目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。								
の - 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 - 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 - 単位かたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	状· 況予	ll .									
● 中華 は できまり できまり できまい できまい できまい できまい できまい できまい できまい できまい		-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。								
□ 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。			支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。								
世 日 ・	の	II –	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。								
費目・ ○	使れる	0	受益者との負担関係は妥当であるか。								
- ○ 費目・使強が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 ○ 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 ○ 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 ○ 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 - 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ○ 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 ○ 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	費		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。								
動 ・	目	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。								
実績 ○ 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 ○ 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 - 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ○ 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 当該事業は、主たる事業(いわゆる4疾病5事業等)における医療連携を推進するための事業であり、医療の現場でもある都道府県1で支援していくことは、非常に有意義な手法であり、また都道府県からのニーズも高いことから、今後も継続して実施してまいりたい。 予算監視・効率化チームの所見 技本本的改成者 本事業については、平成23年度においても予算の総滅が図られており、事業の必要性も認められるところではあるが、更なるの効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。								
○ 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 - 類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか ○ 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 当該事業は、主たる事業(いわゆる4疾病5事業等)における医療連携を推進するための事業であり、医療の現場でもある都道府県にて支援していくことは、非常に有意義な手法であり、また都道府県からのニーズも高いことから、今後も継続して実施してまいりたい。 ***********************************	実	0	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。								
横	•	0	活動実績は見込みに見合ったものであるか。								
横	成果	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか								
横 結果	実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。								
抜本本的の対象化を図るため、、中成23年度においても予算の縮減が図られており、事業の必要性も認められるところではあるが、更なるの対象化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)	横 当該事業は、主たる事業(いわゆる4疾病5事業等)における医療連携を推進するための事業であり、医療の現場でもある都道府県に対し										
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		 予算監視・効率化チームの所見									
	‡ ; ;	抜 本的改善		事業の必要性も認められるところではあるが、更なる予算							
補助先である都道府県の裁量で事業の重点化を図り、予算の弾力的な執行が可能な仕組みを推進することにより、更なる予算の効率化を行	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)										
	補助先										
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			補記 (過去に事業仕分け・公開ブロセス等の対象となって)	いる場合はその結果も記載)							

厚生労働省 22年度予算158百万円

主要な事業(がん対策、脳卒中対策、急性心筋 梗塞対策、糖尿病対策、救急医療対策、災害医 療対策、へき地医療対策、周産期医療対策、小 児救急医療を含む小児医療対策など)ごとに切

※補助率 1/2✓ ※基準額 5,160千円

【j事務委託】

A 40都道府県 158百万円 (補助額1位:東京都52百万円)

(進達業務)

【補助】

B 東京都医療機関 52百万円 (補助額1位∶杏林大学医学部付

【事業概要】

- ・急性期から回復期、在宅医療に至るまでの適切な医療サービスが切れ目なく提供するための事業
- ・地域の医療従事者などの人材養成に向けての事業

(例)

・脳卒中対策に係る医療連携の方法の検討、医療資源の調査、脳卒中に関する住民向けの講演会の開催

・周産期医療に係る医療関係者による合同症例検討会の開催 等

資金の流れ

(資金の受け取りたいのでは、 ではいていてはでする) (単位:百万円)

		A.東京都		E.			
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
	委託費	区中央部等における医療連携体 制構築に向けた会議の開催等経	43				
	報償費	協議会委員等謝金等	6				
	需用費	消耗品購入等	2				
	使用料及び 貸借料	会場借料等	1				
	貝沿行						
	計		52	計		0	
		 B.杏林大学医学部付属病院			F.		
		使 途	金額	費 目	使 途	金額(百万円)	
	報償費	協議会委員等に対して謝金などに	(百万円) 5		,, · · · ·	(日万円)	
	無用費	支出 消耗品購入等	3				
		 会議資料、脳卒中急性期カレン	2				
費目・使途 (「資金の流れ」	汉伤 兵	ダーの郵送等					
においてブロッ							
クごとに最大の 金額が支出され ている者につい							
て記載する。費							
目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)							
ように記載)			10	=1		0	
	<u>計</u>	C.	10	計	G.	0	
		使 途	金額	費 目	使 途	金額	
	<u> </u>	区 是	(百万円)	<u> </u>	K &	(百万円)	
	計		0	計		0	
	D.						
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)	
			(ロソ)			(BV)]/	
	計		0	計		0	

支出先上位10者リスト A._____

Λ.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	52		
2	岐阜県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	11		
3	静岡県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	8		
4	埼玉県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	7	$\Big/$	
5	岩手県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	6	\setminus	
6	岡山県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	6	\setminus	
7	山形県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	5	$\Big/$	
8	京都府	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	5	\setminus	
9	富山県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	4		
10	青森県	都道府県に対し、各医療機関の医療機能を適切に情報提供するための事業に係る経費を補助	3		

B.

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	杏林大学医学部付属病院	医療連携体制推進事業	10		
2	東京都済生会中央病院	医療連携体制推進事業	4	\setminus	
3	国立病院機構災害医療センタ	医療連携体制推進事業	4		
4	武蔵野赤十字病院	医療連携体制推進事業	4		
5	荏原病院	医療連携体制推進事業	4		
6	西東京市医師会	医療連携体制推進事業	4		
7	東京都立広尾病院	医療連携体制推進事業	4		
8	国立国際医療センター戸し	医療連携体制推進事業	4		
9	東京女子医科大学	医療連携体制推進事業	4		
10	西多摩医師会	医療連携体制推進事業	4		